

令和 7 年度 事業計画

1. 令和7年度 事業計画の骨子

目標	実施計画および具体的内容	成果指標
1. 組織体制を強化し、組織内および各関連機関と連携のとれた組織となる。	<p>1) 定期的に総会・運営会議・理事会・各地区定例会・各部会・各委員会を開催し、組織的に取り組む。</p> <p>2) 会員相互の連絡・報告が円滑に行われる組織を目指す。</p> <p>3) 専門部会間の連携を強化する。</p> <p>4) 時代の情勢に応じた組織の安全管理体制を整備する。</p> <p>5) 定款・細則・規程を見直し、組織運営を効果的なものにする。</p> <p>6) 日本助産師会と連携して組織運営を行う。</p> <p>7) 各自治体および関連団体と連携する。</p>	<p>1) 総会：令和7年4月27日（日）対面開催 運営会議：6回、理事会：8回 地区定例会・部会・委員会を定期的に開催する。 事業計画に則り事業の推進・調整・支援を行う。</p> <p>2) 大潮を年3回発行する。 ホームページやメーリングリストを用いて、随時会員に情報を発信する。</p> <p>3) 3部会集会や交流会等で部会間の情報共有を強化し連携を図る。 地域と施設で働く会員が情報共有し、連携につながる機会を作る。</p> <p>4) 組織の盤石な安全管理体制の構築に向けて、3部会と安全対策委員会が協働して役割を担い、安全対策およびリスク管理体制の整備を図る。</p> <p>5) 定款及び細則を見直し、必要時改定を行う。 委員会等の規程を整備する。</p> <p>6) 日本助産師会総会に代議員を派遣する。 日本助産師会・南関東地区および南北関東地区的代表者会議に参加して協議し、組織運営に反映させる。</p> <p>7) 千葉県と情報共有をして、協力や要望を行う。 各地区を通して、市町村の事業に協力する。 看護協会や医師会等の関連団体と連携する。 災害支援において自治体および関連団体と連携する。</p>
2. 地域で活動する助産師に対し、安全対策への組織的な取り組みを行う。	<p>1) 助産所の質の維持を図る。</p> <p>2) 事故事例等の報告書を作成し、その組織的な運用を通して母子の安全に努める。</p> <p>3) 母乳育児支援、産後ケアにおける母子の安全に努める。</p> <p>4) 保健指導開業助産所（来所型）BCP策定を推進する。</p> <p>5) 安全のための講習会の受講を推進する。</p> <p>6) 日本助産師会賠償責任保険への加入を推進する。</p> <p>7) 地域の協力機関との連携を図る。</p>	<p>1) 助産所の安全管理評価を実施する。</p> <p>2) 全助産所部会員のIT利用により転院・搬送報告等を速やかに行い、分娩統計に努める。 ヒヤリハット、インシデントの適正な報告を支援し、事例を共有して改善策を検討する。また、グッドジョブ報告を積極的に収集する。</p> <p>3) 安全な母乳育児支援、産後ケアのための情報を共有する。</p> <p>4) 保健指導開業助産所（来所型）BCPの作成に取り組む。</p> <p>5) 安全管理研修を年2回開催する。</p> <p>6) 助産所・保健指導・勤務助産師それぞれに賠償責任保険への加入を推奨する。特に産後ケア受託に必要な賠償責任保険への加入を周知する。</p> <p>7) 産婦人科医会との研修会を企画する。 地域の産婦人科医と情報交換を行う。</p>

3. 助産および母子保健事業を実施する。	1) 電話無料相談（ミッドワイフ千葉）を継続する。 2) 電話相談における地域との連携を深める 3) 「国際助産師の日」のつどいを開催する。 4) 地域と施設の連携の推進を図り、安定した継続母子保健活動を行う。 5) 産後ケアの質の向上を図る。 6) 千葉県及び市町村と連携して母子保健事業を推進する。	1) 相談事業運営を見直し、安定した運営を行う。 電話相談員を確保し、電話相談を継続する。 2) 電話相談から紹介する相談窓口として、助産所や他機関との連携を図る。 3) 令和7年7月13日（日）に1地区にて「国際助産師の日」のつどいを開催予定である。 4) 地区活動等に勤務助産師が参加できる機会をつくり、連携をとりながら母子保健活動を行う。 各地区と関連施設が情報交換を行い、連携する。 5) 産後ケア実務助産師研修修了者の増加および充足を図り、自治体と協力して産後ケア事業を拡充する。 地域と医療機関の連携に向けて、産後ケア等の情報交換の機会をつくる。 6) 地域で自治体の事業に積極的に協力・参加できるよう、情報共有しながら取り組む。 市町村の産後ケア事業の受託を推進する。 寄り添い型支援等の要請に応えて協力する。
4. 助産師のキャリア・アップを支援する。	1) 助産師の継続教育として必要かつ効果的な研修会を開催する。 2) CloCMiP®ラダーIIIの認証および更新を推進する。 3) 各種表彰を推進する。	1) 教育体系に沿って教育計画を立案・実施する。 受講者のニーズを満たす研修会内容や研修方法を工夫する 2) ラダーIIIの認証および更新に必要な情報を収集し、会員に周知する。 ラダーIII対応の研修会を開催する。 3) 各種表彰に既定数の候補者を選出して表彰につなげる。 会を通して表彰の候補者を推薦する。
5. 講師を育成し、健康教育を実施する。	1) 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める。 2) 「生と性の健康教育」の方略を検討する。 3) 新規の活動として、思春期相談事業（千葉県委託事業）に取り組む。	1) 研修・交流会を開催し、講師の育成に努める。 ニュースレターの活用を推進する。 2) 県内の中学校・高等学校での「生と性に関する健康教育」の拡充を目指し、実績をもとに県に働きかける。 講師謝金の一括化に向けて、依頼先や自治体への周知を図る。 講師依頼とその対応が円滑に進むよう、ホームページの掲載情報を検討する。 3) 助産師が行う包括的性教育の一つの取り組みとして、委託事業に取り組み、相談体制の整備を図る。 研修会を企画し、思春期相談に対応できる人材育成に努める。
6. 災害対策への取り組みを強化する。	1) 災害発生時に対応できる組織を整備する。 2) 日本助産師会や他県の助産師会との連携を強化する。 3) 千葉県や各市町村との連携を強化する。	1) 災害時の連絡網を整備し、情報共有を図る。 災害時支援のシミュレーションを実施し、会員への周知を図る。 災害時支援協力員・協力助産院を確保する。 災害時支援マニュアルの熟読を推進する。 2) 日本助産師会や他機関の研修会に参加する。 近隣助産師会の災害時支援の連携について検討する。 3) 地域の防災訓練に参加し、災害時の母子支援に関する本会の活動を周知する。

		<p>県および各市町村との災害支援協定の締結を推進し、協力体制を整備する。</p> <p>千葉県小児周産期リエゾン研修会に参加し、リエゾンの一員として役割を果たす。</p>
7. 会員増加と会員同士の交流を図る。	<p>1) 会員の定着により助産師会活動の活性化を図る。</p> <p>2) 会員同士の交流を図る。</p>	<p>1) 会員の定着を目指す。「目標 390 名」 非会員および助産学生の研修参加を促し、入会の機会とする。 地域での健康教育等の協力を募り、非会員に助産師会の活動を知ってもらう。 事業活動で助産学生の学修の場となる機会をつくり、助産師会の活動を知ってもらう。</p> <p>2) 年 1 回、菜の花会を開催する。 世代や部会を超えた会員同士の交流の場として、菜の花会の開催方法を検討する。 R8 年度開催予定の 100 周年記念事業の企画を進める。</p>
8. 千葉県助産師会の事務所の管理・運営の安定化を図る。	<p>1) 事務所の管理・運営方法を見直す。</p> <p>2) 事務員の雇用の安定化を図る。</p>	<p>1) 事務所の管理・運営方法を適宜確認する。 事務所内の書類・物品の整備を行う。 事務所移転について検討する。</p> <p>2) 事務員が働きやすい環境を整備する。</p>

2. 地区部会活動計画

令和7年度 第1地区部会 活動計画

地区部会名：柏・野田・我孫子・流山・松戸	地区部会長：小林 由美子
----------------------	--------------

定例会開催予定：8回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の結束を図り、お互いの知識や技術の向上を図る	1) 定例会の開催 2) 研修会の開催	・オンラインと対面の両方を活用し、より多くの会員とのつながりを保つ。 ・最新の情報の伝達、研修会報告や個人の活動の情報交換をする。 ・地区会員の興味がもてる内容での研修会を開催する。
2. 地域に密着した、助産師ができる保健活動を行う。	1) 子育て・女性の健康支援 2) 我孫子市ウェルカムベビー学級の運営 3) 産後ケア 4) 多職種連携	・会員各自の活動の充実。 ・地域の子育て・健康イベント参加。 ・母子保健関連会議への参加 ・子育て・女性支援団体への協力。 ・円滑な運営のための我孫子市との連絡、調整、情報交換。 ・委託された市との連絡・調整、会議を通してよりよいケアを提供する。 ・地区として他職種への研修講師の依頼や個人の活動でも積極的に連携を図る。 ・国際助産師の日の開催。地域の子育て団体との繋がりを強固とする。
3. 健康教育活動の充実	1) 性の健康教育事業 2) 性の健康教育講師の育成 新人の育成と既存講師のプラッシュアップ	・依頼先への講師派遣。連絡調整。 ・実施後の報告、統計。 ・教材管理・意見交換会の開催。 ・研修会への参加 ・健康教育意見交換会への参加 ・講座の見学の実施
4. 災害に備え、母子の災害時支援をする	1) 災害対策 2) 災害時母子支援	・災害時マニュアルを隨時確認する ・災害対策についての研修会に出る。 ・防災会議への出席と母子の専門家であることの周知を図る ・防災訓練への参加 ・市町村との災害時についての話し合いを継続する。 ・災害時は母子支援に携わる。

令和7年度 第2地区部会 活動計画

地区部会名：市川・浦安地区	地区部会長：塩見良子
---------------	------------

定例会開催予定：6回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の 結束を図り、 知識技術の向 上を目指す。	1) 定例会開催 2) 研修会開催 3) 地区会員の地区会や地区活動 の見学や参加への働きかけ 4) 会員の増員を図る	1) 2か月毎の定例会開催(ZOOM併用) 2) 研修会や症例検討を行う。 3) 地区会員の把握、地区会や地区活 動へ参加しやすいようサポートする。 4) 研修会への参加を呼びかけ、地区 活動に参加してもらいやすいように働 きかける。
2. 地域・所属 を超えたネ ットワーク の構築	1) 社会福祉協議会との連携 ・研修会講師としての参加 2) 他職種との交流連携を深める ・STD 対策推進協議会 ・母子保健推進協議会	1) ファミリーサポートセンター基礎 研修講師として参加。 2) 子育て支援関連・健康教育・防災関 連等との交流を深める機会を作る。
3. 地域に密着 した母子保 健活動を積 極的に行う	1) 地域の子育て支援事業への協 力 2) 行政の母子保健事業に協力す る ・浦安市健康増進課 ・市川市産後ケア事業等 3) 健康教育・講演会への講師派 遣 ・健康教育 ・子育て支援講座	1) 2) 子育て支援等に参加し、子育て の悩みに寄り添い相談にのり、自立し た子育てができるように支援する。 3) 健康教育の質と向上のため、シミ ュレーションを行いながら評価・実施 していく。講師ができる人材を育成す る。 研修会に参加し、スキルアップに努め る。
4. 本部・千葉 県助産師会 事業への参 加・協力	1) 「助産師無料電話相談」に協 力 2) 研修会の参加・協力 3) 国際助産師の日の参加・協力	1) 電話相談員として協力 2) 部会を超えた研修会に参加協力 3) 来年度担当であるため、参加協力し て引き継ぎを行う
5. 災害に備え る	1) 浦安市との災害協定継続 2) 災害時迅速な対応ができる準 備 3) 他職種との防災連携	1) 浦安市と話し合い、事業に参加協力 2) 連絡網の見直しと安否確認のため の方法を検討する 3) 母子目線の防災連携を検討する

令和7年度 第3地区部会 活動計画

地区部会名：船橋地区	地区部会長：伊藤志保
------------	------------

定例会開催予定：5回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の結束を図り、お互いの知識や技術の向上をめざす。	1) 定例会の開催 (1) 理事会報告等の連絡 (2) 研修会の開催 2) 地区便りの発行、配布 3) 地区会員増加への取り組み	・情報共有と意見交換を心がけ、親睦を深めると共に、既存の知識のアップデートに繋げる。 ・伝達研修を含め、会員のニーズに添った研修会の開催をめざす。 ・年1回地区便りを発行する。 ・非会員へ地区活動紹介を発信していく。
2. 地域に根ざした母子保健活動を行う。	1) 行政の母子保健事業に協力 2) 健康教育・講演会に講師を派遣し、地域の子育て支援に協力	・昨年同様、各事業に協力する。 妊産婦・新生児訪問、4か月児健康相談、1歳6か月児健診、3歳児健診、パパママ教室、産前産後サポート事業、不妊不育専門相談、養育支援訪問、産婦健診、産後ケア ・担当者と連絡を取り、意見交換をしながら、よりよい母子支援を目指す。 ・母子保健関連会議への参加 ・依頼先へ講師派遣・連絡調整 ・地域の子育て支援事業や健康まつりに参加協力する。 ・講師の育成に努める。
3. 災害に備え、体制を整える。	1) 災害時に落ち着いて行動できる体制作り 2) 災害時、行政と連携し母子支援活動を行う。	・災害対策委員会が行う訓練に参加する。 ・災害協定やマニュアルを見直す。 ・防災に関しての情報交換を行い、日頃から連絡を取りあえる体制をめざす。 ・市と定期的に話し合いをする。 ・災害時にできる母子支援について、地区内で話し合う。
4. 千葉県助産師会が行う事業への参加協力を行う。	1) 「助産師の電話無料相談」に協力 2) 研修会への参加 3) イベントや事業への協力	・電話相談員として協力する。 ・研修会への参加を呼びかける。 ・国際助産師の日のイベントに協力する。 ・他地区の産後ケア事業に協力する。

令和7年度 第4地区部会 活動計画

地区部会名：習志野・八千代・鎌ヶ谷	地区部会長：金子みゆき
-------------------	-------------

定例会開催予定：8回 役員会2回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の交流を図り、お互いの知識や技術の向上に努める	1) 定例会の開催 2) 地区研修会の開催 3) 地区会員の地区活動への参加者増員 4) 地域周産期センターや地域施設と交流	・年8回定例会（オンライン・対面2回） ・伝達研修を含め会員の興味のある研修会の開催 ・地区活動紹介を発信していく ・交流会、意見交換会を設ける。 ・地域医療センター産科職員や地域会員との交流会
2. 地域に密着した母子保健活動・健康支援活動を行う	1) 子育て支援 2) 行政の事業に協力 (1) プレママ教室 (2) 産後ケア (3) 母子保健会議	・会員各自の業務の充実 ・育児講座に講師の派遣を行う ・八千代市ハローべビー教室に協力 ・八千代市訪問型産後ケアに協力 ・習志野市・鎌ヶ谷市訪問型産後ケアに協力 ・習志野保健所母子保健推進協議会参加
3. 健康教育活動の充実	1) 生と性の健康講座 2) 生と性の健康講座の講師育成	・講師派遣、連絡調整。 ・講座内容の検討・研修会で研鑽し、講師の質の向上を図る ・教材及び資料の整備 ・地区内研修会開催 ・講座の見学
4. 災害に備え体制を整える	1) 災害時速やかに行動できるための準備 2) 災害時、行政と連携し母子支援活動協力ができる体制づくり	・日頃より安否確認を行い問題点等改善していく ・連絡網の整備 ・災害時、協定に基づき行動できるよう、協力員の確保等、地区部会内の整備を行う ・習志野市防災会議参加 ・習志野市防災訓練に協力
5. 千葉県助産師会の事業への参加	1) 助産師による電話無料相談協力 2) スタジオアリス	・地区会員が電話無料相談協力員として相談業務に参加する。 ・講師担当者決める ・見学希望者受け入れ

令和7年度 第5地区部会 活動計画

地区部会名：印旛	地区部会長：根本由起子
----------	-------------

定例会開催予定：4回

目標	事業	活動内容
1. 会員の交流を図り知識・技術の向上に努める	1) 定例会の開催 2) 研修会を開催 3) 会員の満足度を高める 4) 会員の増加に努める	1) 対面で会を行い、コミュニケーションを大切にする 2) 会員のニーズに沿った研修会を企画開催 3) 非会員の助産師への声掛けや、研修会の案内等を行う
2. 地域に密着した保健指導を行う	1) 行政の母子保健事業への協力 2) 健康教育・思春期講話の充実を図る	1) 行政との連携 (1) 母親学級・パパママクラス等 (2) ヨガクラス (3) 新生児訪問、 こんにちは赤ちゃん事業等 (4) 産後ケア事業 (5) 成田市健康福祉まつり 2) (1) 講演会への講師派遣 (2) 講師の自己研鑽 (3) 講師の育成、増員 (4) 低い謝金は増額の方向へ働きかける
3. 災害に備える	1) 災害時に速やかに行動がとれるための準備 2) 協定市との連携を図る 3) 協定市の災害訓練への参加	1) マニュアルの見直しや整備 2) 協定市とコミュニケーションをとる 3) 佐倉市・成田市・八街市・印西市・白井市の災害訓練へ参加 4) 新たに災害協定のある場合、関係機関と密に連携を図る
4. 千葉県助産師会の事業への参加・協力	1) 県研修会・イベントへの参加	1) 「助産師の電話無料相談」への協力 (1) フライヤーの配布 (2) 電話相談員として協力・増員への声掛け (3) 研修への参加・呼びかけ 2) 総会への参加及び協力 3) 「国際助産師の日」への参加・協力 4) スタジオアリスマタニティーセミナーへの協力 5) 100周年記念事業の企画協力

令和7年度 第6地区部会 活動計画

地区部会名：香取・海匝・山武・長生・夷隅地区	地区部会長：白倉美智子
------------------------	-------------

定例会開催予定：年4回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の交流を図り知識や技術の向上に努める	1) 定例会の開催 2) 地区研修会の開催 3) 会員の地区会参加への働きかけ 4) 地区会員増員への働きかけ 5) 健康教育の講師育成	1) 定例会のほとんどがZOOMだったので半分以上を対面に戻していく。 2) 研修会は定例会に合わせて開催する。テーマは会員のニーズを基に決定し、伝達講習、実践報告、意見交換を行う。地区内外で行われる研修会の参加 3) 定例会などの予告・報告は都度メール等で配信する 4) 地区研修会等への声かけ 5) 健康教育に関する研修受講や講演見学、意見交換等により講師の増員を図る
2. 地域に密着した母子保健活動を行い地域との連携に努める	1) 行政母子保健事業への協力 2) 城西国際大学祭の参加（許可のあった場合） 3) 健康教育・講演会への講師派遣	1) 両親学級・新生児訪問・産後ケア事業などへの協力、母子保健関係会議や研修会への参加 2) 城西国際大学看護助産学科教員と意見交換し、PRを含めた企画と実施 3) 講師依頼に対し調整する
3. 県助産師会事業への参加・協力を行う	1) 電話相談事業に協力 2) スタジオアリスマタニティセミナー協力 3) 国際助産師の日イベントへの協力	1) 電話相談員として協力、地域へのPRを行う 2) マタニティセミナー担当者との意見交換、セミナー実施、希望者を募る 3) 担当地区の指示のもと協力
4. 災害対策を整える	1) 災害時の対応について検討 2) 災害訓練への参加	1) 災害時の対応について検討 (1) 災害時支援マニュアルを基に地域の特性にあった対策を話し合う (2) 地域の防災対策に対する情報収集と行政との連携を検討する (3) 災害協定を結んだ市町に挨拶を兼ねて協定内容に変更がないか確認 2) 災害訓練参加の準備と実施後の評価を行い次に活かす

令和7年度 第7地区部会 活動計画

地区部会名：千葉地区	地区理事：菅谷厚子
------------	-----------

定例会開催予定：12回

目標	事業	活動内容
1. 母子保健知識の普及・生命の大切さの普及・女性の健康支援を行う	1) 土日両親学級 (千葉市委託事業) 2) 不妊専門相談【電話相談】(千葉市委託事業) 3) 「いのちの講座」開催 4) 妊娠期準備クラス 5) 千葉市母子保健事業 6) 関連施設との連携 7) 千葉市のイベント参加 8) 千葉県助産師会事業	・24回開催予定(第1回:12回 第2回:9回) 定員は1回20組40名とする。講話形式 ・「不妊・不育いのちの温line」を週1回3名で担当する。 ・親子で学ぶ講座I、親子で学ぶ講座II 大人が学ぶ講座を開催する。 ・赤ちゃんのお世話練習大会を開催する。 ・温line講座「親になるクラス」を配信する ・各事業へ、講師、相談員を推薦する。 母親&父親学級、母乳教室、女性の健康相談、不妊専門相談【面談】、思春期保健事業、千葉市産後ケア事業(委託助産院) ・産科1施設と連携し産褥訪問を行う。 ・精神科1施設と連携し、産前産後の継続支援を行う。カンファレンスを開催する。 ・千葉市のイベントへ参加、協力する。 ・電話無料相談相談員、スタジオアリスマタニティセミナー講師、国際助産師の日のつどいへの協力を行う。
2. 助産師の知識・技術を高める	1) 研修会の開催 2) 事例検討会・学習会の開催 3) 学生実習協力	・千葉市母子保健事業業務委託による研修会を3回開催する。 ・定例会を活用し、事例検討会や事例報告会、ミニ学習会などを行う。 ・東京情報大学看護学部学生実習の協力 ・他大学の依頼により協力する
3. 組織を強化し、運営を円滑に行う	1) 運営に関する会議 2) 関連機関との連携 3) 災害対策 4) 会員の増加を目指す 5) 助産師活動の広報	・年1回総会、毎月定例会を開催する。適宜、理事会を開催する。委員会活動の充実を図る。 ・総会資料、議事録を会員へ配布する。 ・健康支援課へ要望書を提出する。 ・行政関連の委員を受諾し、会議に出席する。 ・千葉市と連携し、災害時の災害時の対応について話し合いをする。 ・ホームページ、Instagram、リーフレットを活用し、広報及び情報提供を行う。

令和7年度 第9地区部会 活動計画

地区部会名：市原・君津・安房地区	地区部会長：小柴 和子
------------------	-------------

定例会開催予定：5回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の交流を図り、地域に密着した母子保健活動・健康支援活動を行う。	1) 定例会の開催 2) 地域母子保健事業への協力 (1) 新生児訪問・乳幼児健診 (2) 子育て関連事業 (3) 産後ケア (4) 連絡会議・研修会 (5) 思春期健康教育事業	1) 定例会の開催 (1) 情報共有・意見交換 (2) 事例検討や連携 (3) 出席率を上げる 2) 各事業への協力 (1) 事業協力会員の確保 (2) 講師派遣・連絡調整 (3) 連携や交流を図り、実施
2. 会員各自の知識・技術の向上に努める。	1) 研修会の開催 2) 事例検討会・学習会 3) キャリアアップ支援	1) 母子保健活動のニーズに対応できる 研修会の実施 2) 定例会を活用して事例検討や伝達 講習・実践報告・意見交換をする。 3) 事業の見学や交流をもち、キャリアアップへの支援
3. 県助産師会事業への参加・協力	1) 電話相談事業 2) 国際助産師の日・研修会・イベントや事業等協力	1) 担当地区として事業の運営・役割を 果たす。 2) 協力会員の確保・参加の推奨
4. 組織の強化と運営の円滑化を図る	1) 運営に関する会議 2) 他機関との連携 3) 災害対策	1) 年1回の総会・定例会の開催 (1) 適宜理事会の開催 (2) 会則の見直し (3) 定例会の運営の在り方検討し、 充実を図る。 2) 行政等他機関との連携の円滑化を 目指す。 3) 災害時の備え、体制や行動の確認 (1) シュミレーションの参加 (2) 防災訓練の参加等行政との 連携の充実 (3) 災害時の母子支援の展開

3. 専門部会活動計画

- 1) 助産所部会
- 2) 保健指導部会
- 3) 勤務助産師部会

令和7年度 助産所部会 活動計画

【年間目標】

1. 助産所ガイドラインを尊守した安全な助産所運営と質の向上に取り組む。
2. ヒヤリハット、インシデント・アクシデント報告を促し、安全な助産所運営と質の向上に取り組む。
3. 助産所の存在と自然分娩の周知を目指す。
4. 助産所の開業を目指す助産師の研修を開催し、助産所部会員の増加を目指す。

【定例会開催予定】

年6回偶数月 第4水曜日 13:30~15:30

(Zoom会議5回・対面会議1回)

活動目標

目標	実施計画及び具体的内容
1. 助産所ガイドラインを尊守した安全な助産所運営と質の向上に取り組む。	1) 分娩を扱う助産所の評価訪問は安全対策委員会1名を含む2名以上で行う。 2) 安全管理評価表を年度末に報告する。
2. ヒヤリハット、インシデント・アクシデント報告を促し、安全な助産所運営と質の向上に取り組む。	1) 定例会にて、グッジョブ、ヒヤリハット、インシデント・アクシデント報告を共有し安全検討を行う。 2) 安全対策委員会と協力し、インシデント・アクシデント報告を集計する。 3) 分娩件数を年度末に報告する。
3. 助産所の存在と自然分娩の周知を目指す。	1) 対面での研修会を企画する。 2) 分娩室でのリラクゼーションとフリースタイル分娩 講師：小柴和子 キミツナカノ助産院 3) 妊娠中からの身体を整えるための骨盤ケア（初級編） 講師：米丸充咲 あびこ助産院
4. 助産所の開業を目指す助産師の研修を開催し、助産所部会員の増加を目指す。	同上

令和7年度 保健指導部会 活動計画

【年間目標】

1. あらゆる場面で助産師の実践的で質の高い保健師指導に役立つ活動を行う
2. 産後ケアガイドライン（令和6年10月）に沿った産後ケアを実践する
3. 保健指導型助産院のBCP作成を推進し、災害時にも対応出来る助産院運営を促進する

【定例会開催予定】

毎月1回の定例会開催

活動目標

目標	実施計画及び具体的内容
1. あらゆる場面で役立つ、助産師の実践的で質の高い保健師指導を行うための活動	<ol style="list-style-type: none">1) 保健指導に役立つ研修会の実施<ol style="list-style-type: none">(1) 産前産後の身体の見方や健康を保つための身体の使い方にに関する研修(2) 千葉県助産師会員同士の顔の見える関係作りの強化<ol style="list-style-type: none">(1) 対面での交流会開催(2) 部会メーリングリストを活用した情報交換
2. 産後ケアガイドライン（令和6年10月）に沿った産後ケアを実践する	<ol style="list-style-type: none">1) 安全で質の高い産後ケアを実践する<ol style="list-style-type: none">(1) 産後ケアガイドラインを周知徹底する(2) 産後ケアに活用できる研修会の開催2) 行政との連携を図る<ol style="list-style-type: none">(1) 行政との信頼関係を構築しネゴシエーションを行う(2) 千葉県内統一した産後ケアが提供できるよう県に働きかける
3. 保健指導型助産院のBCP作成を推進し、災害時にも対応出来る助産院運営を促進する	<ol style="list-style-type: none">1) 保健指導型助産院のBCPのサンプルを提示し、それぞれの助産院での作成の普及を図る<ol style="list-style-type: none">(1) 日本助産師会BCP作成ガイドラインを参考にする

令和7年度 勤務助産師部会 活動計画

【年間目標】

1. 切れ目ない産前・産後支援に向けて日々の実践に役立つ研修会を開催する。
2. 勤務助産師同士がつながるために、勤務助産師のニーズの把握や助産師同士の交流を図る。

【定例会開催予定】

メールやオンラインでの会議を年4回以上

活動目標

目 標	実施計画及び具体的な内容
1. 切れ目ない産前・産後支援に向けた活動を支援する。	<ol style="list-style-type: none">1) 関心の高いテーマを取り入れ日々の助産実践に役立つ研修会を実施する。2) 地区、部会、病院、クリニック、施設、保健センター等への広報活動を行い、広く会員の参加を募る。3) 助産師安全管理評価表について周知を図り、安全な助産活動の連携を図る。
2. 勤務助産師同士がつながるために、勤務助産師のニーズの把握や助産師同士の交流を図る。	<ol style="list-style-type: none">1) 勤務助産師に向けたアンケート調査を行い、会員のニーズを把握する。

4. 委員会活動計画

- 1) 教育委員会
- 2) 子育て委員会
- 3) 安全対策委員会
- 4) 災害対策委員会
- 5) 広報委員会
- 6) 将来構想検討委員会
- 7) 細則検討委員会
- 8) 生と性の健康教育委員会

令和7年度 千葉県助産師会教育計画

【年間目標】

1. 助産師の継続教育として必要な研修会を開催する
2. 社会状況に対応可能な研修会の年間計画を立案・実施する
3. 対面や遠隔による効果的な委員会活動を実施する

【定例会開催予定】

随時 (ZOOM、LINE、mail)

活動目標

目 標	実施計画及び具体的な内容
1. 助産師の継続教育として必要な研修会を開催する	1) 体系化した教育計画を立案する 2) 受講者のニーズを満たす研修会内容や研修方法を工夫する 3) 実施した研修会が継続教育に有効であったかを評価する
2. 社会状況に対応可能な研修会の年間計画を立案・実施する	1) 他部会及び委員会と連携した体系的な教育計画を実施する 2) 社会状況を踏まえ、立案した教育計画を速やかに修正し運営する 3) 実施した研修会が継続教育に有効であったかを評価する
3. 対面や遠隔による効果的な委員会活動を実施する	1) 委員会メンバーの役割分担を整備し実施する 2) 必要時、ZOOM、LINE、mail を使用し委員会メンバー間で情報共有する

令和7年度 千葉県助産師会教育計画

研修会名 (募集人員)	研修内容	講師	開催日時	開催方法
【教育委員会】 地区報告会	各地区の実践報告	1, 2, 3, 4 地区	7月	大潮送付 時に同封
【助産所部会】 AM「分娩室でのリラクゼーションとフリースタイル出産」 PM「妊娠中から身体を整えるための骨盤ケア:初級編 (各20名)	自然分娩の周知を目指す	キミツナカノ助産院 小柴 和子 先生 あびこ助産院 米丸 充咲 先生	未定	対面
【生と性の健康教育委員会】 研修・交流会 (30名)	仮) 私の地区の講座紹介 模擬授業と交流会	生と性の健康教育委員会委員	6月22日 (日) 10:00~ 12:30	対面
【保健指導部会】 (仮)恥骨痛・腱鞘炎・尿漏れに注意!妊娠期からの姿勢と身体の使い方からみる『骨盤診断®』の重要性 (30名)	『骨盤診断®』 妊娠婦の骨盤の診かたを知る事は、産前産後のトラブルを予見し、症状を改善するための保健指導に役立ちます。	鍼灸整骨院 サステナ 院長 國吉 裕史 先生	6月29日 (日)	対面
【子育て委員会】 研修会 (未定)	未定	未定	7月	対面またはZOOM
【勤務助産師部会】 「エジンバラの活用と産後の母親への関わり方」 (40名)	エジンバラの効果的な活用法を知り産後うつやメンタルの不調をきたした対象への関わり方など	未定	9月頃	対面またはZOOM
【教育委員会】 NCPR Sコース (8名)	NCPRスキルアップ認定講習	成田赤十字病院 伊能 小百合 先生	9月28日 (日)	対面
【子育て委員会】 研修会 (未定)	未定	未定	11月	対面またはZOOM
【教育委員会】 安全な出産に関する研修会 (30名)	未定	レディースホーム やわた 院長 計良 和範 先生	11月頃	ZOOM
【保健指導部会】 保健指導部会交流会 (未定)	未定	未定	12月頃	対面
【災害対策委員会・安全対策委員会合同研修】 研修会 (未定)	未定	未定	未定	対面またはZOOM
【安全対策委員会】 研修会 (未定)	インシデント・アクシデント研修	未定	未定	対面またはZOOM
【教育委員会】 外国人母子の支援 (30名)	外国人母子の助産ケアー安心して妊娠・出産・子育てをするためにー	聖路加国際大学 教授 五十嵐 ゆかり 先生	1月25日 (日)	ZOOM

参加費:研修会により異なります。HP等で研修会案内をご確認下さい。

今年7年度 子育て委員会 活動計画

【年間目標】

1. 電話相談を円滑に運営、継続するためのシステムの構築
2. 相談員が継続して協力していけるためのメンタルヘルスに努める

【定例会開催予定】

必要時に開催とする

活動目標

目 標	実施計画及び具体的な内容
1. 電話相談事業を円滑に運営、継続するためのシステムの構築	<ol style="list-style-type: none">1) 持続可能な安定した電話相談事業運営<ol style="list-style-type: none">(1) 柔軟で安定した運営システムの確立 グループLINE継続(2) グループLINE内での相談員の情報共有(3) 相談員交代などにもグループLINEを活用する2) 継続していけるような安定した相談員の確保<ol style="list-style-type: none">(1) 会員全体への相談員登録の呼びかけ(2) 研修や交流会を通じ、会員が電話相談事業へ関心を向け、社会的にも重要な役割であるという意識が持てるよう図る
2. 相談員が継続して協力していけるためのメンタルヘルスに努める	<ol style="list-style-type: none">1) 相談員が積極的に協力できる環境を整える<ol style="list-style-type: none">(1) 交流会を通じ、各々が抱える不安や対応スキルの情報交換をしていくことで個々のスキルアップと不安解消に努める(2) 対応に苦慮した事例、気がかりが残る事例などについて情報を共有し、グループLINEなどの情報提供、相談、子育て委員などへの連絡を通してフォローに努める(3) 電話相談の限界を理解し、電話相談では解決できない場合は他機関との連携し、支援を行う

令和7年度 安全対策委員会 活動計画

【年間目標】

1. 事故・搬送・転院事例・ヒヤリハット事例の報告が的確に行える
2. 助産師業務安全管理評価を実施できる
3. 災害対策の視点でリスクマネージメントができる

【定例会開催予定】

毎月1回 ZOOM会議を開催

活動目標

目標	実施計画及び具体的な内容
1. 事故・搬送・転院事例・ヒヤリハット事例の報告が的確に行える	<ol style="list-style-type: none">1) 年1回の研修会企画・開催<ol style="list-style-type: none">(1) インシデント・アクシデントの意義を周知(2) インシデント・アクシデント報告の運用方法(3) インシデント・アクシデント報告の共有・フィードバック
2. 助産師業務安全管理評価を実施できる	<ol style="list-style-type: none">1) 日本助産師会の助産師業務安全管理評価表に準じ調査する2) 助産所部会長と協働し、「助産所安全管理評価」を実施<ol style="list-style-type: none">(1) 嘱託医、協力医療機関との契約更新・保険加入の確認(2) 改善点・気づきを共有する
3. 災害対策の視点でリスクマネージメントができる	<ol style="list-style-type: none">1) 災害対策委員と合同で研修会開催2) 災害時の連携方法を理解する3) BCP(事業継続計画)の再確認ができる

令和7年度 災害対策委員会 活動計画

【年間目標】

1. 通常定例会や共通ツールにて全地区の情報共有を図る。
2. 災害時の初動動作に有効なシミュレーションを検討し、準備実施をする。
3. 日本助産師会・関連団体との連携を図り協力体制を構築できるように努める。
4. 地域の災害対策事業に参加する。

【定例会開催予定】4回

活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 全地区の情報共有を図る。	1) 通常定例会及び必要に応じ臨時会議を開催する。 2) 各地区との情報の収集や共有、また問題発生時には解決に努める。
2. 災害時の初動動作に有効なシミュレーションを検討し、準備実施をする。	1) シミュレーションができる災害時訓練への参加を促す。 2) 災害時マニュアルの熟読し、改訂に向けて準備する。 3) 災害時支援協力員・協力助産院の確保に努める。 4) 会員全員周知を目指し各地区にて災害時連絡網を整備する。 5) 初動動作が円滑にできるよう、災害対策本部の役割の細部まで検討し、アクションカードを作成する。
3. 日本助産師会・関連団体との連携を図り、協力体制を構築できるように努める。	1) 日本助産師会主催及び他機関主催の災害対策研修へ参加する。 2) 研修会等で近隣助産師会の災害時支援の連携について検討し合い、顔の見える関係を築くことができるよう努める。 3) 近隣助産師会による支援協力を受ける時の手順を考える。
4. 地域の災害対策事業に参加する。	1) 市町村との災害時支援協力を図る。(災害時支援協定) 2) 災害時支援協定締結後の市町村との細部の活動を確認する。 3) 地域の防災訓練に参加し、助産師活動をアピールする。 4) 千葉県リエゾンへ積極的に参加し、リエゾンの一員としての役割を果たすことができるよう努める。

令和7年度 広報委員会 活動計画

【年間目標】

1. 広報誌「大潮」を発行し、千葉県助産師会の活動を会員および他機関に広く周知する
2. 作成したマニュアルの検討をする

【定例会開催予定】

大潮発行に合わせ適宜開催する（7月、12月、3月発行予定）

その他必要時、メール・ラインでの会議を行う

活動目標

目 標	実施計画及び具体的な内容
1. 「大潮」を発行する	1) 年3回、計画的に発行する。 2) 原稿依頼・編集・発送に関して、役割分担・手順をマニュアルに沿い、効率よく大潮の作成、発行する。
2. 大潮を通して、会員へ助産師会の活動を広報する	1) 千葉県助産師会の事業や研修会の情報などを掲載し、会員に配布する。 2) 会員へホームページとメーリングリストの活用について広報する
3. 大潮やリーフレットを通して関係諸機関へ千葉県助産師会の活動を広報する	1) 千葉県助産師会の事業や研修会の情報などを掲載し、日本助産師会および関係諸機関に送付する。 2) 千葉県助産師会のホームページに大潮を掲載する。 3) 各地区的イベントなどで、リーフレットや大潮を配布し、千葉県助産師会の活動を広報する。
4. 活動の写真を、整理・保存する	1) 使用した写真はデータとして、整理し、保存する。
5. 広告掲載	1) 企業の広告掲載依頼があった場合、原稿の編集、大潮の郵送、県会計への連絡など取りまとめをする

令和7年度 将来構想検討委員会 活動計画

【年間目標】

1. 社会の変化やニーズを把握し、助産師会活動に反映する。
2. 会員増加に努めると共に、潜在しているマンパワーの把握と育成の提案を行う。
3. 事務所の管理・運営の安定化を図る。
4. 助産所の存続と発展に向けた活動を行う。
5. 地区部会の入会者を増やし、地区部会活動への参加を促す。
6. 専門部会間の連携を強化して組織活動を展開する。

【定例会開催予定】

運営会議および理事会後に開催する。

活動目標

1. 社会のニーズを把握し、助産師会活動に反映する。	1) 国・県・市町村から発信された情報を収集する。 2) 関連機関との連携を促進し、情報収集に努める。 3) 情報を運営会議や理事会で共有し、事業展開について検討する。 4) 必要に応じて助産師会独自、県及び市町村による事業展開に向けた準備に着手する。
2. 会員の増加に努めると共に、潜在しているマンパワーの把握と育成の提案を行う。	1) 会員の増加に努める。(目標: 390名) 2) 会員の活動調査内容を把握し、必要な情報を発信する。 3) 会員の育成に必要な研修会を提案する。
3. 事務所の管理・運営の安定化を図る。	1) 事務所の活用を図るため、管理・運営方法を見直す。 2) 事務員の雇用の維持・安定化を図る。 3) 事務所移転を考慮する。
4. 助産所の存続と発展に向けた活動を行う。	1) 助産所(有床・無床)の減少を最小限にし、継続・発展するため後継者の育成を図り企画を協議する。 2) 助産所分娩施設の安全を守り、継続的に経営が成り立つために連携医療機関・嘱託医の確保に努める。 3) 各専門部会(助産所部会・勤務助産師部会・保健指導部会)の会員の意見を収集し、専門職としての意見を県市町村に反映する。 4) 活発に運営している県外を含めた助産所(助産、保健指導、訪問看護)施設見学、講話等を通して学ぶ。
5. 地区部会の入会者を増やし、地区部会活動への参加を促す。	1) 各地区部会の母子保健活動に関する情報を収集し整理する。 2) 全ての会員が該当地区部会に所属し、地区部会活動に参加する機会を得られるよう促す。
6. 専門部会間の連携を強化して組織活動を展開する。	1) 3部会集会を開催し、部会間の連携を図る。 2) 3部会に共通したテーマについて検討する機会をもつ。 3) 病院、助産所、地域で働く助産師が連携する方法を他の組織団体とも協力を得ながら探る。

令和7年度 細則検討委員会 活動計画

【年間目標】

1. 定款および細則の見直しを適宜行う。
2. 規程および活動マニュアルを整理する。

【定例会開催予定】

理事会後に開催する。(年4回程度)

活動目標

目標	実施計画及び具体的な内容
1. 定款および細則の見直しを適宜行う。	1) 定款を見直し、必要があれば総会において改正する。 2) 定款に合わせて細則の見直しを行う。
2. 規程および活動マニュアルを整理する。	1) 各部会および各委員会の規程を整理する。 2) 定款や細則に基づいて作成された規程を整理する。 3) 部会・委員会および各担当部署の活動マニュアルを整理する。

令和7年度 生と性の健康教育委員会 活動計画

【年間目標】

1. 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める
2. 「生と性の健康教育」の方略を検討する

【定例会開催予定】

Zoom 会議を適宜開催する

活動目標

目 標	実施計画及び具体的な内容
1. 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める。	1) 研修会・交流会を開催する。 (1) 6月22日(日) 千葉市生涯学習センター テーマ:私の地区の講座紹介(仮) 2) ニュースレターの活用をすすめる。
2. 「生と性の健康教育」の方略を検討する。	1) 様々な課題を抱える中で、今後も健康教育を実施・継続していくように図る。
3. 助産師会と他職種の連携を図る。	1)千葉 STI 研究会に参画し、活動する。 2)ちば思春期研究会に参画し、活動する。